

イーライフ 東京都世田谷区に事業所開設 質の高い福祉用具提案を東京で

イーライフ（横浜市、篠本高基社長）は3月1日に東京都世田谷営業所を開設した。同社は神奈川県横浜市、相模原市、藤沢市で4事業所を運営し、東京都では初めての事業所となる。

篠本社長は「当初より会社のビジョンとして東京出店を掲げてきた。世田谷区は当社の事業所がある地域にも近いいため、緊急時のサポート体制も確保できる」と説明する。営業所のほかに横浜市を中心に川崎市、藤沢市、町田市、海老名市、相模

新設の世田谷事業所は広いスペースを活用して緊急用に特定福祉用具販売のポータルサイト

原市、多摩市、世田谷区大田区などに提携する卸会社倉庫があり、利用者の自宅へ最短での納品を実現する。

独自の連絡ツールも活用し、社員間で協力し合い少しでも早く対応できる体制を構築。新事業所がある桜新町付近には第三京浜道路があり交通アクセスも良く、倉庫からスムーズな納品を後押しする。

篠本社長は「社内でも経験と知識豊富で実力のあ

現在、世田谷事業所は篠本社長と、福祉用具専門相談員歴11年の前田英貴所長、9年目の吉田洸介所長代理の3人体制。

篠本社長は「社内でも経験と知識豊富で実力のある職員を選んだ。都内の利用者にも高品質なサービスを提供していきたい」と意気込む。

吉田さんは現在、地域包括支援センターが主催する医療イベントや、地域高齢者向けのスポーツイベントなどに参加し、地域の課題把握や関係づくりに取り組んでいる。「今後はセミナー開催など、情報発信と地域連携にも力を入れたい。福祉用具に限らず、相談事には何でも対応し、利用者の生活を豊かにするためにできる限りのサポートをし



右から篠本社長、前田所長、吉田所長代理

ていきたい」と話す。

このほか、職員が働きやすい環境づくりに取り組んでおり、チャットやクラウドなどICT導入により全社の月の残業時間は10時間以下。今年度はAIを活用した業務効率化にも着手。世田谷営業所では3年間で10人の専門相談員採用を目指す。

前田所長は「イーライフの中で最も利用者が多い事業所にしていき

い。そのために地域の方に評価いただけるよう、当社の強みである専門性や質の高さを生かした福祉用具提案に取り組んでいく」と語る。

【イーライフ世田谷営業所】

住所：〒154-000

16 東京都世田谷区弦巻4-11-2 シエモア

弦巻1F

TEL 03・6413・5368